

寄稿

鹿児島県大阪事務所 名古屋駐在だより

～中京地区の流通情報と名古屋市駐在の取組み～

鹿児島県大阪事務所名古屋市駐在 森 千寿氏

鹿児島県大阪事務所名古屋市駐在の森と申します。昨年4月に着任し、早くも1年が過ぎようとしています。着任早々は、慌ただしい日々でしたが、名古屋での生活もようやく慣れてきたところ です。

令和元年6月に設置された名古屋市駐在ですが、名古屋駅近くにある愛知鹿児島県人会事務所内に駐在し、観光・物産PR、企業誘致、かごしま応援寄附金に関する業務等を主に取り組んでおります。初めての県外勤務で不安が大きかったですが、県人会役員の皆様はじめ鹿児島県ゆかりの方々に囲まれ、大変心強く感じております。

さて、中京地区の百貨店や量販店等でも全国各地の物産展が開催されるなど販わいが戻っています。県大阪事務所では関係団体協力の下、本年2月、金山総合駅（名古屋市中区）にて中京地区での鹿児島県産農産物の認知度向上や販路拡大、本県への誘客を目的として「かごしまの観光と農産物フェアin名古屋」を開催しました。名古屋市在住の本県出身者やゆかりのある方々をはじめ、多くの来場者に県産農産物や特産品等の宣伝・販売を行うとともに、県内の観光情報をPRする絶好の機会となりました。

また、2月から3月にかけて、宝暦治水でゆかりの深い姉妹県である岐阜県との交流事業の一環として、名古屋市栄の岐阜県アンテナショップ「GIFTS PREMIUM」にて、さつま揚げや鹿児島ラーメン、郷土菓子などが期間限定で販売されました。常連さんからは、毎年この時期を楽しみにしているとお声もあるそうで、早々に品薄になる商品もありました。

先の愛知鹿児島県人会はじめ、中京地区にも鹿児島県ゆかりの方々が多くいらっしゃいます。引き続き、鹿児島島の魅力発信に努めてまいりますので、名古屋にお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。



かごしまの観光と農産物フェアin名古屋

～令和5年度 第5回理事会開催報告～

令和5年度第5回理事会を3月18日(月)に開催し、会の冒頭には塩田理事長より「県内の経済は全体として回復傾向が続いているものの物価上昇等の影響が見られる中、当協会においては今後とも、会員の皆様と一緒に、世界に誇れる「南の宝箱 鹿児島」の農林水産物や加工食品、伝統的工芸品等のブランド力の向上販売力の強化に積極的に取り組み、本県産業の「稼ぐ力」の向上を図ってまいります。」との挨拶がありました。

本理事会では、令和6年度事業計画及び収支予算のほか、鹿児島ブランドショップを旧興業館に移転するまでの間、鹿児島市金生町の「よかど鹿児島」本館2階に仮移転する方向性が県から示されたことに伴い、当協会事務所も同施設へ仮移転することなど議題5件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

新たな鹿児島ブランドショップにつきましては、仮移転に伴うPR等を含めて事前の準備をしっかりと行い、オープン後は2階の売り場だけでなく、1階のイベントスペースを活用し、県や市、商工団体等と連携しながら本県特産品の販売促進に取り組んでいきたいと考えております。

また、理事の皆様からは「福岡市近郊への販路拡大強化」や「日本一和牛のPR」「ブランドショップ人気商品とECショップの連動」などについてのご要望がありましたので、今後、前向きに検討して参りたいと考えております。

今後とも、新たな取組みにも挑戦しながら特産品振興に努めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

東武百貨店池袋店「第44回鹿児島物産展」開催

鹿児島県と当協会では、東武百貨店池袋店（東京都）において「第44回大鹿児島展」（2月22日～2月27日）を開催しました。（食品65社 工芸品20社出展）

会場では、人気の「芋菓子・スイーツ」をはじめ、畜産王国が誇る「日本一の鹿児島県産和牛」「かごしま黒豚」「ブリ・鰹」などの弁当・惣菜、旬の農産物や柑橘類など本県を代表する農水産物・加工品、また、伝統的な技術や技法を活かした工芸品など鹿児島の魅力ある特産品や観光情報等、幅広くPRしました。

特に今回は、和牛日本一である鹿児島県産和牛の「食べ比べ」をテーマに、東武限定品として黒毛和牛の様々な部位が味わえる弁当や黒毛和牛とかごしま黒豚のミニバーガーセット、黒毛姫牛のローストビーフサンドなど、希少部位を使用した商品や黒毛和牛の様々な食べ方を紹介したところ、年齢・性別を問わず、多くのお客様が食べ比べを楽しんでいました。

また、東武百貨店池袋店初企画として、日本有数の茶産地であることをPRするため「知覧茶」や「小みかん茶」「紅茶」など7種類の飲み比べを行ったところ、お客様は、好み（風味・色味・味）や興味・関心のあるお茶を選択し、気に入ったお茶を購入されるなど購買まで繋がりました。

その他、全国的に人気が続いている「さつまいも」を使用した芋スイーツや収穫量日本一を誇る「鰹」「ブリ」を使用した弁当など「本県の日本一」のPRも行いました。

【出展者・百貨店関係者の反応等】

百貨店、出展者等によるSNS配信や朝夕の人気情報番組による事前告知、会場からのライブ中継などの効果もあり、番組等で取り上げられた商品の目的買いなどで、前年を大幅に上回る来場者・売上となりました。

新規出展企業の中には、百貨店担当者から商品価格や新商品開発について、また、出展経験の長い企業から陳列方法や接客方法などのアドバイスを受けながら取組み、新規顧客の獲得とまとめ買いなどに繋げる企業もありました。



鹿児島の夕べで本県特産品の紹介及び商談会を開催しました

本県の「食」や「観光」など多彩な魅力を発信する「鹿児島の夕べ」（1月26日）がセルリアンタワー東急ホテル（東京都渋谷）で開催されました。

第1部では、商談会・展示会が行われ、かごしまの新特産品コンクール入賞企業を含む県内事業者30社が出展し、百貨店や量販店、レストラン事業者など、約200名との商談が熱心に行なわれました。

また、第2部では、首都圏在住の薩摩大使や国会・県議会議員、県人会、メディア、流通関係者など約600名を対象とした展示会が行われ、本県の魅力ある食や観光資源が存分に紹介されました。

出展者の中には、参加バイヤーとの商談により、百貨店や量販店でのフェアや物産展への出品・出展が決まった企業やギフトカタログ掲載に向けて提案を勧められる企業もあり、商品の高い評価を受けるなど、有意義な商談会となりました。

参加企業からも「今後、販売予定である新商品をバイヤーの方に試飲試食していただき、また的確なアドバイスを頂けたのが非常に良かった」などとの意見もあり、今後の首都圏での販路拡大に繋がる、大きな一歩となりました。



コンクール入賞企業と来場バイヤーによる商談

日本橋三越本店及び京王百貨店新宿店にて「大九州展」開催

日本有数の富裕層を顧客に持つ日本橋三越本店（3月6日～11日）とJRや地下鉄、私鉄線が多数乗入れ、世界一の乗降客を誇る新宿駅に隣立する京王百貨店新宿店（3月7日～13日）において「大九州展」を開催し、日本橋三越本店には、工芸品16社、食品21社、京王百貨店新宿店には、食品12社の特産品製造企業が出展しました。

日本橋三越では「現地を超える」をテーマとし、初日に特別頒布品として苺の配布を行い、また九州各県産の苺に特化した商品の販売を行いました。鹿児島県からは、鹿児島県産の苺を使用したヴァイツェンビールの特別販売や白トリュフオイルを使用した鶏白湯スープの鶏そばなど、現地を超える味の演出・提供をしたことで、絶えず満席が続いている状態となりました。出展者からは「前回の売上を考慮して、少し多めに商品を製造したが、それでも品薄となるぐらい販売出来た」「今後は、首都圏のお客様のニーズに合わせた商品展開をしていきたいと思った（首都圏は一人暮らしの方が多く、セット売りよりもバラ売りなど）」などといった、次回を見据えた前向きな意見もありました。

また、京王百貨店新宿店では、今回は熊本県の特集で開催されたことから、休日限定でくまモンの登場イベント等も行われ、非常に会場は賑わい、鹿児島県の企業も限定商品等が昼前後で完売するなど購買に繋がりました。出展者からは、「新規のお客様が一度購入され、期間中に再来店された。また東京で催事をする際には、必ず連絡が欲しいというお客様もあり、出展して良かった」との感想もありました。

首都圏では、一時期コロナによって物産展の開催等が減少しましたが、今では、物産展・イベント等の再開を待ち望んでいたお客様の姿を多く見られますので、引続き物産展を活用した本県特産品のPR・販路拡大等を支援して参ります。



日本橋三越本店 大九州展



京王百貨店新宿店 大九州展

応援購入サイト「Makuake」を活用したトライアル販売を実施しました

コロナ禍の影響により、新たな生活様式に即したWEB販売の需要が急拡大し、販売ツールとして定着していることから、当協会では、県内の特産品製造企業等を対象に、応援購入サイトMakuakeを活用した新商品等のトライアル販売を実施することで、日本全国へ本県特産品の情報を発信及び新たな市場でのブランド化、販路開拓を支援しました。【令和5年度WEB活用県産品販売促進事業（鹿児島県委託事業）】

今回は、Makuake上にオンライン催事「かごしま特産品ねっとかごいろ」という特設ページを設け、10プロジェクトのコンテンツを制作（本文、リターン品等のスチール撮影）からプロジェクトの始動・運営管理、また、SNS等を活用した情報発信・販促活動（SNS広告含む）やサポーターとの連絡調整の他、食品の一括表示・レシピ作成なども支援し、8プロジェクトが目標金額を達成しました。

催事公開期間：令和5年11月17日～令和6年2月15日
売上合計：約169万円、購入総数（サポーター）304件

今回は、北海道から沖縄まで39都道府県に居住されるサポーターから購入いただき、関東地域からの購入が117件と38.5%を占めました。また、各プロジェクトでターゲット層が異なることから、アクセス数やサポーターの居住地域にも特徴が見られました。

リターン品発送後は、当協会ECサイト「かごしま特産品ねっとかごいろ」に順次掲載することにより、継続した販売促進を図ります。次年度も本事業を実施予定ですので、Makuakeでのトライアル販売に関心のある方は当協会までお問い合わせください。



鹿児島ブランドショップ鹿児島店
「奄美群島日本復帰七十周年記念フェア」
「木曾三川でつながる鹿児島県と岐阜県フェア」開催

鹿児島店では、昭和28年12月25日に奄美群島が日本復帰を果たして70年を記念した「奄美群島日本復帰七十周年記念フェア」（令和5年12月22日～令和6年1月31日）を開催しました。

今フェアでは、奄美群島の基幹産業である「さとうきび」にスポットをあて、黒糖焼酎や黒糖、黒糖菓子など奄美群島の優れた45社77品目の特産品を販売・PRし、特にさとうきびの展示や各島から黒糖を取寄せた食べ比べは、人気企画となりました。来店者にもフェアを通して奄美群島の特産品の豊かさや魅力を知っていただく良いきっかけとなりました。

また、宝暦治水などでゆかりの深い本県の姉妹県である岐阜県との交流の一環として、両県のアンテナショップにおいて両県特産品の展示販売・PRする「木曾三川でつながる鹿児島県と岐阜県フェア」（2月19日～3月19日）を開催いたしました。

今フェアでは、両県特産品の相互販売会を行い、鹿児島店では、岐阜県特産の五平餅や赤かぶ漬、朴葉みそなど29社40品目、愛知県名古屋市にあるGIFTS PREMIUM（岐阜県アンテナショップ）では、本県の郷土菓子や特産品コンクール入賞商品を中心とした20社43品目の商品を販売し、両県の特産品振興と交流を深めました。

なお、GIFTS PREMIUMの担当者からは「九州地方と中部地方でこれだけ離れているにも関わらず、毎年このような両県の特産品をPRできる機会を設けてもらえるのは、大変有難い。鹿児島の特産品はとても人気がある。これからも継続して親交を深めていきたい」との感想があり、両県の関係性の深さが窺えました。

宝暦4年(1754年)から現代まで続く両県の絆を絶やさぬよう、今後も特産品の販売を通して交流を図って参ります。



奄美群島日本復帰七十周年記念フェア



GIFTS PREMIUMでの鹿児島県フェア

特産振興支援員奮闘記

シラス・火山灰・溶岩を活かす

特産振興支援員 工芸品担当 村瀬 辰範

鹿児島県の土壌の半分以上を占めるシラスは火砕流の堆積物で、その特性を生かし断熱材や研磨材、屋根瓦、ブロック、ガラス工芸品、コンクリート、また、天然抗菌剤など様々な製品が開発されています。また、シラスから生成されたシラスバルーンは気孔があり吸着性、吸臭性が高く吸収すると放出しない構造で洗顔料等の材料にもなっています。建築資材に利用される小野石や加治木石は火砕流が溶結した岩石です。

噴火時の風向きが気になる火山灰は、工芸品の素材や釉薬等でも有効に活用され、お土産用に缶詰、ビン詰されたものもあり、灰干の干物など食品の製造にも利用されています。

桜島の溶岩は熱伝導に優れた溶岩プレートや金属、繊維素材などに優れた耐性を施す表面コーティングに利用され、現在も多くの企業が産業の発展のため研究を進め多種多様の商品を生み出しています。

このように資源を有効に活用する一方で無駄も多く発生しています。商品化出来なかった材料や不良品の廃棄等、食品フードロスと同様に様々な問題が出ています。生活していく上で必要なもの、新しいもの、便利なものなど、豊かな生活を手に入れるためには無駄が出て悪循環ですが、廃棄されるものを有効に利用する活動も広がっています。工夫しながら全ての地域に「モノ」が均しく循環する世になることを望みます。



1. 「かごしま特産品ねっと かごいろ」にて特産品をPRしませんか？

当協会では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた本県特産品の販売機会を創出する場として、通販サイト「かごしま特産品ねっと かごいろ」を立ち上げてから約4年が経ちました。これまで「かごしま特産品応援キャンペーン」と銘打ち、応援福袋や割引クーポンキャンペーンなど、様々な販促強化に取組み、新規商品の掘り起こしや商品開発によるサイトの魅力度アップに努めて参りました。

今後も県内外の企業や自治体・関係団体等との連携、応援キャンペーンによる県内特産品の販売機会の創出・需要拡大、情報発信等を行って参りますので、当サイトへの出品等についてお気軽にお問い合わせください。

【かごしま特産品ねっと かごいろ】

<https://kagotokunet.shop-pro.jp/>

【かごいろ Yahoo!店】

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/kagoiro/>

【お問合せ・申込先】

(公社)鹿児島県特産品協会 遠矢喬志、帖佐満、永田みずえ

E-mail:n.mizue@k-p-a.jp

TEL:099-223-9177 FAX:099-227-0768



2. 大丸福岡天神店「第3回 南の宝箱 鹿児島展」開催します！

県内特産品製造事業者等の商品を福岡県天神地区にて宣伝・販売し、鹿児島島の魅力ある特産品を福岡県一円の一般消費者へPR・情報発信し、地元へ貢献するため大丸福岡天神店にて「第3回南の宝箱 鹿児島展」を開催いたします。

今回は、「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」で『和牛日本一』に輝いた鹿児島県産黒毛和牛や養殖日本一の鰻やブリ・カンパチの他、関連特別企画として、4月3日(水)～9日(火)まで「鹿児島クラフト&ハンドメイドマルシェ」[beacom market@FUKUOKA]を同時開催し、県内の若手クラフト作家等の自慢の作品などを宣伝・販売します。

【会期】令和6年4月3日(水)～4月8日(月) 6日間

【会場】大丸福岡天神店 本館8階催場

3. かごしま遊楽館「工芸品ギャラリー」をご活用ください

当協会では、かごしま遊楽館3階(東京都千代田区有楽町)にある鹿児島ブランドショップ東京店内「工芸品ギャラリー」を活用し、本県独特の素材や技術を活かした工芸品等を首都圏に広く紹介・宣伝しております。

県内作家や各団体等の発表の場や販路開拓の拠点として、個展(グループ展)や観光PR(団体・自治体紹介)等にもご利用いただけますので、是非ご利用ください。

利用ご希望の方は、**令和6年4月30日(火)まで**に当協会へお申込みください。

設置場所:鹿児島ブランドショップ東京店内(東京都千代田区有楽町1-6-4)

利用期間:原則として1週間以上2週間以内(応相談)

利用時間:午前10時～午後6時

利用対象:本県の工芸品や各団体・自治体の観光PR等

<お問合せ先>

(公社)鹿児島県特産品協会 企画開発課(担当:池田(聡))

TEL:099-223-9177 E-mail:s.ikeda@k-p-a.jp

※詳細および利用申込書は、下記よりダウンロードください。

【利用要領】

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2023/01/gallery.pdf>

【申込書・申請書】

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2023/01/gallery.doc>